



新年のあいさつ

静岡県バドミントン協会  
会長 石川 博義

新年明けましておめでとうございます。  
2015年の年頭にあたり会員の皆様のこの一年のご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げますと共に静岡県バドミントン協会の発展のためにご尽力頂きますようお願い申し上げます。  
去年のバドミントン界の様子を見ますと日本バドミントン協会は、多くの国際大会に選手を派遣し素晴らしい成績を残しております。  
その筆頭は、トマス杯優勝、ユーバ杯2位の成績でしょう。その他ジュニア、ユース、各国オープンに参加をし、そのほとんどの大会で優勝又は上位入賞をはたし、日本が世界の中で確固たる地位を保持しています。大変喜ばしいことです。  
国内を見ると全日本総合で高校生の山口茜さんがシングルスで優勝するという快挙を成し遂げて居ます。  
彼女は中学2年生の時から全日本総合に出場して予選を突破して本線で大学生相手に大健闘しています。  
県内では小学生が全国小学生大会、ABC大会で上位入賞果たしています。  
これらの選手を含めて多くのジュニアの選手皆さん山口さんを目標に頑張ってください。  
今後の県内の行事について見ると、平成29年の全国レディース大会、平成30年に全国高校総合体育大会が静岡県で開催されます。その会場地と決定と運営の為の人員の確保を早急に進めなくてはなりません。  
私は過去において、国体をはじめ大きな大会の開催に係わってきましたが、何と云っても大事なことは「人」です。お金や物は無くても人さえ居ればどんな困難でも乗り越えられるというのが私の持論です。  
これらの大会を成功させるには、非常に多くの方が係ります。  
それも目的意識を持った人と云えるでしょう。  
もちろん中心となるのは、レディース連盟であり、高体連という事になりますが、県協会は全面的にバックアップして支えています。  
今後、審判資格、指導者資格と様々な問題も起こって来て皆様のご協力が必要となってきます。全国から参加する選手の皆さんが気持ちよく、楽しく試合が出来るように、余り時間ありませんが、今から心がけていきましょう。  
本年もよろしくお願い申し上げます。



「県協会近況報告」  
東京オリンピック  
パラリンピックを前にして  
静岡県バドミントン協会  
理事長 杉山 敏充

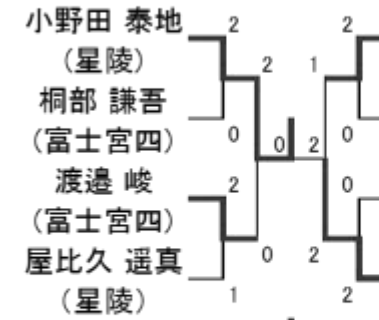
明けましておめでとうございます。  
昨年は、県協会の各事業にご協力を賜り誠に有り難うございました。本年もまた昨年同様のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。  
さて、一年が本当に早く感じられますが昨年の冒頭、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を機に静岡県は今後各国のアスリートやその関係者で多くの賑わいを見せることと予測しましたが、いよいよそれが現実的なものとなって参りました。  
皆様ご承知の通り、平成23年にスポーツ基本法が制定されましたがその前文には「スポーツは世界共通の人類の文化」とあり、スポーツは人と人との交流を促進し地域の一体感や活力を醸成する重要な役割を果たすとされているのですが、その実現に向けての取り組みの一環として「ホストシティ・タウン構想」があります。  
この「ホストシティ・タウン構想」とは 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、全国の自治体と参加国の人的、経済的、文化的な相互交流を図ることにより地域の活性化、観光振興に資する観点から政府全体で推進する取り組みであります。  
従い、政府としては自治体の取り組みが東京大会の直前ではなく大会開催の数年前から開始されることを期待し、自治体の創意工夫による多様な取り組みを後押ししつつ大会の機運を日本全体で盛り上げていくこととしているのである。  
これを受け本県では、逸早くこの構想の実現に向けての推進本部が庁内に立ち上げられ地元選手の競技力の向上や事前合宿の誘致、観光誘客等を進めるための第1回東京オリンピック・パラリンピック推進会議が昨年の5月に開催されたのであります。  
委員会の構成員はスポーツ振興に関わる体育協会、競技団体及び市町の教育、文化、観光、商工会等で全県一体となる体制での準備に入り当然、私達県協会もその一員としてこの事業への推進、協力、支援、に名を連ねたのであります。  
そんななか、第2回目の推進会議が9月末に開催され事前誘致合宿についての具体的戦略(骨子)についての議論を開始したのですが、折しもその直後に中華台北(台湾)から本県における合宿候補地としての下見要望が届いたのであります。それは、中華台北羽球協會(Chinese Taipei Badminton Association)からであった。  
本県として初めての誘致合宿への取り組みが私達のバドミントン競技となったのである。

第5回 静岡県中学生バドミントン新人大会

平成26年10月8日

(富士市富士川体育館・富士フィルム富士宮体育館)

<2年男子シングルス>



渡邊 平岡

<2年女子シングルス>



佐野 今井

<2年男子ダブルス>



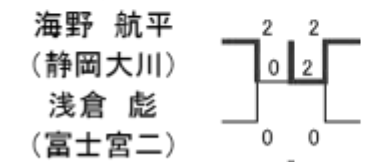
村田・島田 山内・岩城

<2年女子ダブルス>



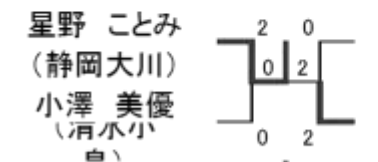
廣瀬・橋口 大川・秋山

<新人男子シングルス>



浅倉 佐藤

<新人女子シングルス>



小澤 岩村

静岡県ジュニア交流バドミントン大会団体戦兼東海小  
学生団体戦県予選

平成26年11月19日 吉田町総合体育館

<男子決勝トーナメント>

- 一回戦  
御殿場ジュニア 2-1 どんぐりジュニア  
富士山バド A 2-0 富士山バド B  
準決勝  
富士中央バド 2-0 御殿場ジュニア  
SBCスクール 2-1 富士山バド A  
3位決定戦  
富士山バド A 2-1 御殿場ジュニア  
決勝  
SBCスクール 2-1 富士中央バド  
①SBCスクール②富士中央バド③富士山バドA

<女子決勝トーナメント>

- 一回戦  
藤枝ジュニア 2-1 島田六合ジュニア  
伊東ワールド 2-1 羽球大井川 Jr  
広幡バドキッズ 3-0 富士山バド  
富士中央バド A 3-0 富士中央バド B  
準決勝  
藤枝ジュニア 2-1 富士山バド  
広幡バドキッズ 2-0 富士中央バド A  
3位決定戦  
富士中央バド 2-0 伊東ワールド  
決勝  
広幡バドキッズ 2-0 藤枝ジュニア  
①広幡バドキッズ②藤枝ジュニア③富士中央バド